

街角に明治を見つける

普段何気なく歩いている街角にも、明治を感じるものがあります。それは建築物。福岡ヘリテージマネージャーの資格を持つ、創業明治45年・中村タイル商会の中村正昭社長と一緒に福博の街を散策してみましょう。

[ヘリテージマネージャーとは?]
別名・地域歴史文化遺産保全活用推進員。福岡県建築士会が認定する資格で、地域に眠る歴史的建造物を発見、構造などを詳細に調査し、保存。また、それを活用した街づくりに貢献する。



中村タイル商会
社長 中村正昭さん

福岡市 赤煉瓦文化館

[竣工] 明治42年



中央区天神1-15-30 ☎092-722-4666
休 月曜(祝日の場合は翌日)



赤煉瓦と
白い花崗岩の
コントラストが
辰野式

明治を感じる、といえばココ。西洋の建築技術が流入した明治時代を象徴する姿を今に伝えていきます。設計は、東京駅も設計した辰野金吾。当時はこうした煉瓦造りの建築物が全国で流行ったのですが、関東大震災などでの建物倒壊を受けて法的な規制が加わったこと、また、鉄筋コンクリートの台頭があって下火になっていきました。

ジョーキュー醤油 表座敷

[竣工] 明治初頭

醤油蔵などはさすが歴史が長いですね。福岡で一番古い醤油蔵・ジョーキュー醤油には、明治初頭に建てられた木造二階建ての表座敷と、明治中期に建てられた納戸蔵があります。若者の町・大名に、こんなに歴史的な建物が残っているなんて驚きです。ちなみに表座敷は、明治10年の西南戦争の際、官軍の宿舎として使われたそうです。お店の方に声を掛けると、快く見せてくれますよ。



博多の醤油は
お土産にも
ぴったり



① 納戸蔵
② 表座敷

中央区大名1-12-15
☎092-741-6360
休 日祝

旧福岡県 公会堂 貴賓館

[竣工] 明治43年

中央区西中洲6-29
☎092-751-4416
休 月曜(祝日の場合は翌日)



当時の姿

福岡県立図書館 所蔵



早良区高取1-1-20

天神中央公園の中に保存されている木造二階建ての洋風建築です。石造りのように見えますが、モルタルの壁に目地を入れて石造りに見えるように造られています。明治時代に赤煉瓦館のような煉瓦造りや石造りの建築物が増えますが、地震の多い日本には向かないこともあったのでしょう。次第にモルタルやコンクリートの壁に煉瓦を薄くスライスしたものを貼り、意匠として使うようになりました。貴賓館は館内を見学することができ、カフェも併設されているので、ちょっとした休憩スポットにもいいですね。

歩きたくなる
素敵な
商店街ですね

博多百年蔵

[竣工] 明治3年

場所は都市高速呉服町ランプの近く。酒蔵らしい漆喰の白壁ですね。酒蔵だけでなく、江戸時代に引き続き明治時代にもこうした造りの建築物はよく建てられていたようです。蔵自体は明治初頭に造られていますが、明治維新目前の幕末期には、当時あった奥座敷で西郷隆盛と高杉晋作らの密会が行われたとか。建物に歴史あり、です。



結婚式や宴会も
できるらしい
ですよ

博多区堅粕1-30-1
☎092-651-1986
休 年始・お盆

伊佐家住宅

[竣工] 明治初頭

藤崎と西新の間、商店街が軒を連ねる旧唐津街道沿いにある商家建築。資料によると店舗部分は江戸時代末期に造られ、明治に入って母屋の座敷部分が増築されたということです。漆喰塗りの壁や出格子から商家らしさが伝わります。人が集まる街道沿いにはこうした商家が多く集まり、より賑わいを増していました。現在も住宅として利用されていますので室内は公開されていません。通りから静かに拝見しましょう。周辺には紅葉八幡宮や高取焼の窯元などもあるので、併せて散策するのもいいですね。